

とっておきの新居浜検定 問題用紙

(午後1時30分開始 制限時間60分)

第12回 中級

注意事項

1. 解答用紙の記入にあたっては、HB又はBの黒鉛筆、シャープペンシルを使用する。
2. 解答はすべて答案用紙に記入すること。その際に、ひらがなで記入しても可とする。
3. 【 】にあてはまる語句を答案用紙に記入すること。その際に、ひらがなで記入しても可とする。

令和3年11月7日(日)

新居浜商工会議所

新居浜検定事業運営協議会

(問題1)

鎌倉時代から戦国時代にかけて新居浜地方を支配した豪族を三氏あげて下さい。

(問題2)

大化の改新後、郡制がしかれ、新居浜地域に置かれた郡の名称は何でしょうか。

(問題3)

平成【 問題3 】年度には、平成における愛媛県内合併第1号として、新居浜市と別子山村が合併し、新生新居浜市が発足しました。

(問題4)

太鼓台を台船に乗せ、海神に詣でるため川西地区で隔年開催される催しを何とというか書いてください。

(問題5)

昭和47年(1972)に作られた太鼓台の謡【 問題5 】は、毎年、都はるみの威勢のよい歌声が太鼓祭りを盛り上げます。

(問題6)

別子銅山に電気を供給するため、明治45年(1912)建設された端出場水力発電所の建物内部には、操業開始からの発電機が現存していますが、この製造所(メーカー名)を書いてください。

(問題7)

日本最初の山岳鉱山鉄道の別子鉱山鉄道上部線(石ヶ山丈~角石原間5,532m)の開通年を書いてください。

(問題8)

昭和4年(1929)頃に、都市計画の一環として別子鉱山鉄道下部線沿線の星越に住友の会社幹部用として建設された社宅の名称を書いてください。

(問題9)

嶺南側(別子山)と嶺北側(新居浜)を分ける峠、銅山越の標高は何メートルでしょうか。

(問題10)

端出場鉄橋(ピントラス橋)を設計した設計技師の名前を書いてください。

(問題11)

慶応3年(1867)、米価の値上がりにより別子銅山の稼人が暴動を起こした際、問題解決に協力し、広瀬幸平とかかわりを持った住職はどこに住職でしょうか。

(問題12)

別子銅山の煙害問題は、昭和14年(1939)に中和工場が完成して克服されました。亜硫酸ガスを何によって中和したか書いてください。

(問題13)

別子銅山には主に4つの鉱床から形成されています。筏津・積善・余慶、あと一つは何か書いてください。

(問題14)

端出場水力発電所は、別子銅山に電気を供給するため、明治45年(1912)に建設されましたが、事業を推進した人物の名前を書いてください。

(問題15)

星越隧道は別子鉱山鉄道下部線の星越山を抜けて惣開へ物資運搬を行うための重要なトンネルでした。このトンネルの長さは約何メートルか書いてください。

(問題16)

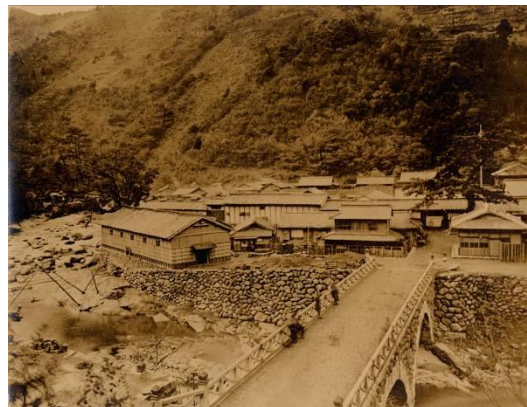
住友の総理事であった伊庭貞剛は、明治37年(1904)に58歳の若さで現役を退きませんが、その後静かに生活を送った、滋賀県大津市にある伊庭の別荘の名前は何かでしょうか。

(問題17)

東平の索道は動力を使用せず【問題17】を下ろす重さを利用して生活物資等を下から荷揚げしていました。

(問題18)

この写真にある橋の名前は何かというのでしょうか。



(問題19)

端出場水力発電所は、明治45年(1912)、わが国最大級の出力3,000kwで建設されました。約【 問題19 】mの有効落差を利用して発電が行われ、これは当時、東洋一の落差でした。

(問題20)

昭和2年(1927)に住友別子鉱山株式会社の常務取締役役に就任した鷲尾勘解治は、「住友がこの地に銅山に代わるべき事業を起こし、その事業が栄えてこそ新居浜の繁栄が期待できる」という思いから、一貫して企業と地域社会との【 問題20 】路線をとっています。

(問題21、22)

第三通洞は、東平と日浦を結ぶ約【 問題21 】kmの坑道です。昭和13年(1938)には、新居浜側と別子山側を結ぶ唯一の交通機関として【 問題22 】の運転が開始し、昭和48年(1973)まで36年間利用されていました。

(問題23)

元禄11年(1698)には別子銅山の年間産銅量は、【 問題23 】tに達しています。

(問題24)

大斜坑は海面下約1,000メートルに及ぶ大坑内運搬路ですが、昭和何年に完成したでしょうか。

(問題25)

日本最初の山岳鉱山鉄道である上部鉄道は、片道約【 問題25 】分をかけて1日8往復で運行していました。

(問題26)

明治25年(1892)、広瀬幸平は、殖産興業に尽力したことが認められ、民間人で初めての明治勲章を受けましたが、そのとき一緒に受勲したのは、渋沢栄一、古河市兵衛、【 問題26 】です。

(問題27、28)

伊庭貞剛が58歳で現役を退く際に残した次の言葉の空欄を埋めて下さい。
「事業の進歩発達に最も害をするものは【 問題27 】の過失ではなくて、
【 問題28 】の跋扈である

(問題29)

この写真の別子銅山関係の施設名を書いてください。



(問題30)

多喜浜塩田開祖である深尾権太輔が死去し、墓碑と頌徳碑「塩田永潤徳」が建てられている寺の名称を書いてください。

(問題31)

樽谷与一郎は、多喜浜塩田開発のため、備後国より来て以来塩田地主として経営に尽力し、国策により廃田となる昭和34年(1959)まで営々と製塩業に従事してきたのは何家か、書いてください。

(問題32)

明治12年(1879)に第百四十一国立銀行として設立された西条銀行は、明治40年(1907)に多喜浜出張所を置きました。この銀行を何といったでしょうか。

(問題33)

多喜浜塩田における小野家には寛政年間にある俳人が立ち寄ったといわれますが、その人物は誰か、書いてください。

(問題34)

昭和40年(1965)に愛媛県文化財保護委員の八木繁一氏が発見した桜の木は、発見されたお寺の名前がついています。現在、新居浜市指定の文化財である桜の名前は何かでしょうか。

(問題35、36)

藤田達芳は、大学卒業後に塩田経営の合理化と近代化を図るため、明治26年(1893)【問題35】を設立し、明治27年(1894)、新居浜で最初の衆議院議員に当選、国会で塩田国有論を提唱。明治38年(1905)、【問題36】の成立に導くなど塩田経営の安定に貢献した「塩田中興の祖」として讃えられています。

(問題37)

多喜浜焼きは、天保年間(1830~1844)に岡本家が塩田用の通水管としての樋瓶を作るため、備前から陶工の【 問題37 】を呼んで邸内に築かせた「岡本窯」で製陶したのが始まりです。

(問題38)

いもだきの起源となった江戸時代の親睦行事とは何でしょうか。

(問題39)

瀬戸内海でとれる新鮮な小エビと小魚の白身と豆腐を混ぜて「竹輪」にまいて焼き上げた食品は何でしょうか。

(問題40)

別子山地域の中核的観光施設である「森林公園ゆらぎの森」には、ドーム型藤棚としては日本最大級とされる直径【 問題40 】メートルの巨大パーゴラが設置されています。

(問題41)

現在、住友化学株式会社は市内の惣開町、菊本町、【 問題41 】に総面積360万㎡を超える工場があり、様々な種類の製品を生産しています。

(問題42)

新居浜市では、他市に誇れる優れた工業製品や特徴ある技術を【 問題42 】として認定し、高い産業集積や魅力ある企業群を全国に広く情報発信しています。

(問題43)

「この銅山を神とし仰ぎ幾代かも堀つぎて来しことの畏こさ」
この歌を詠んだ人は誰でしょうか。

(問題44)

新居浜の方言で「よもだ」という言葉の意味は何でしょうか。

(問題45)

新居浜地方の方言で「めんめに」という言葉の意味は何でしょうか。

(問題46)

川田 順が詠んだ次の歌の空欄を埋めて下さい。

「地中にてはたらくことは慣れながら 皆【 問題46 】に礼して這入る」

(問題47、48)

【 問題47 】は、小松藩儒学者・近藤篤山に師事し、のちに泉川星原に【 問題48 】を建て、青年教育にあたり石川栄六、藤田達芳、広瀬満正、小野寅吉など多くの逸材を世に送り、彼らは新居浜の発展に貢献しました。

(問題49)

昭和4年(1929)以来、角野村収入役、同助役、角野町長などを歴任。同22年(1947)から県議会議員を20年間務め、議長、副議長としても活躍した人の名前を書いてください。

(問題50)

別子山村出身者のイラストレーターで、舞台芸術やアニメーション、映画、グラフィックデザイン、挿絵のほか、新聞、テレビでの文明批判、講演・著作活動など多方面で活躍し、山根温水プール壁画、移動図書館「青い鳥号」などの作品で知られる人の名前を書いてください。